

令和5年7月25日

一般社団法人宮城県経営者協会 御中

宮城県高等学校長協会会長
(宮城県仙台第二高等学校長)

高橋 賢



同 就職対策委員会代表幹事 兼
宮城県高等学校進路指導研究会会長 黒田 賢
(宮城県塩釜高等学校長)



令和6年3月新規高等学校等卒業者の雇用確保について (お願い)

本県高等学校教育の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和5年3月卒の新規高等学校卒業者の令和5年4月末時点の就職内定率は99.1%、前年同期を0.4ポイント下回りましたが、就職を希望し未就職となっている卒業生は29名と前年同期より12名減少しました。(高校教育課調べ) また、宮城労働局発表による令和5年3月末の県内求人数は10,083件、求人倍率は4.22倍と過去最高となり、皆様方からの新規高等学校卒業生への御期待と多大なる御配慮をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、近年の新規高卒者の就職環境は、新型コロナウイルス感染症などの影響により経済の先行きに不透明さ続いておりますが、各企業の皆様の御努力と各経済団体様や関係機関の働きかけや御支援のおかげで、例年同様の実績を維持してきております。今年度は5月から新型コロナウイルス感染症の取扱いが5類相当となり、経済活動の活発化が期待され就職活動にも好影響が期待されているところですが、少子高齢化はますます進み、高卒予定者に占める就職希望者は減少傾向にあります。私ども高等学校長協会といたしましては、将来の地域産業の担い手となる人材の育成を図り、地域への貢献という高い志を持った心身ともに健全で有為な人材の育成に努めなければならないとの認識を強くしているところです。また、支援学校高等学園には130名を超える卒業予定者が在籍しておりますが、コロナ禍で減少していた現場実習の機会を増やし、技能習得を図りながら卒業後の就労につなげる所存ですので、これまで同様の御理解と御支援を賜りたく存じます。

つきましては、先行きの不透明な経済情勢ではありますが、令和6年3月の新規高等学校卒業生及び支援学校高等卒業予定者の雇用確保につきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の今後ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。